

生物・医薬品工学研究センター 講演会

歯周組織再生療法の最前線

竹立 匡秀 博士

大阪大学歯学部・大学院歯学研究科
口腔治療学教室
講師



歯周病は、歯の周囲に形成された細菌バイオフィルムが原因となり歯を支える組織（歯周組織）の破壊が進行する慢性炎症疾患であり、成人が歯を喪失する一番の原因となっている。細菌バイオフィルムの機械的除去は歯周病の進行を抑制するものの、それだけでは一度失われた歯周組織は再生しない。我々は、塩基性線維芽細胞増殖因子を用いた歯周組織の再生療法を開発し、臨床応用に成功した。さらに、重度歯周病患者を対象とした臨床研究にて、脂肪組織由来幹細胞の自己移植による歯周組織再生療法の安全性と有効性を評価した。本講演では、その結果を中心に解説し、歯周病研究の最前線について紹介したい。

日時：2020年1月31日（金） 17:00 – 18:30

場所：富山県立大学

生物・医薬品工学研究センター1階 K-115室

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

富山県立大学工学部 医薬品工学科 担当：長井 良憲

TEL: 0766-56-7500（内線1911）

E-mail: ynagai@pu-toyama.ac.jp